

受注企業動向調査結果

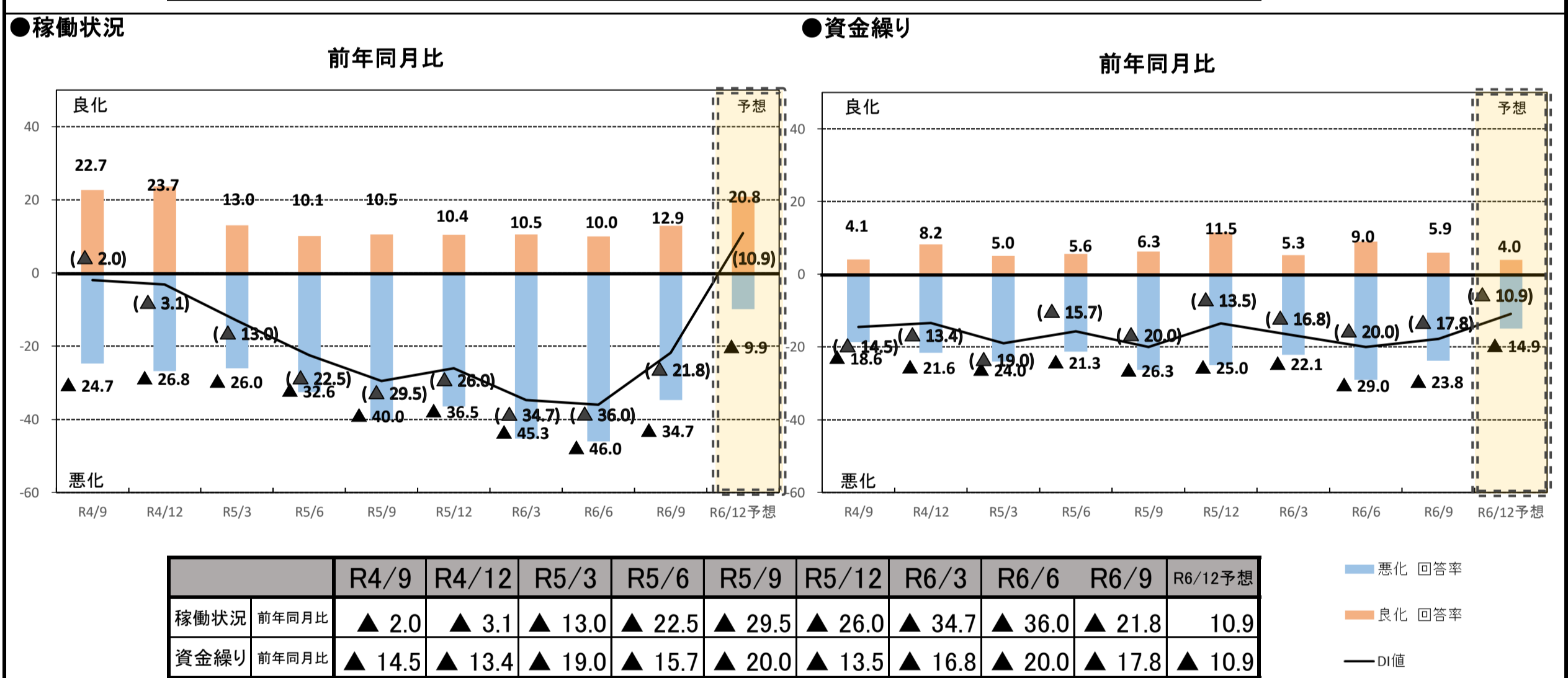
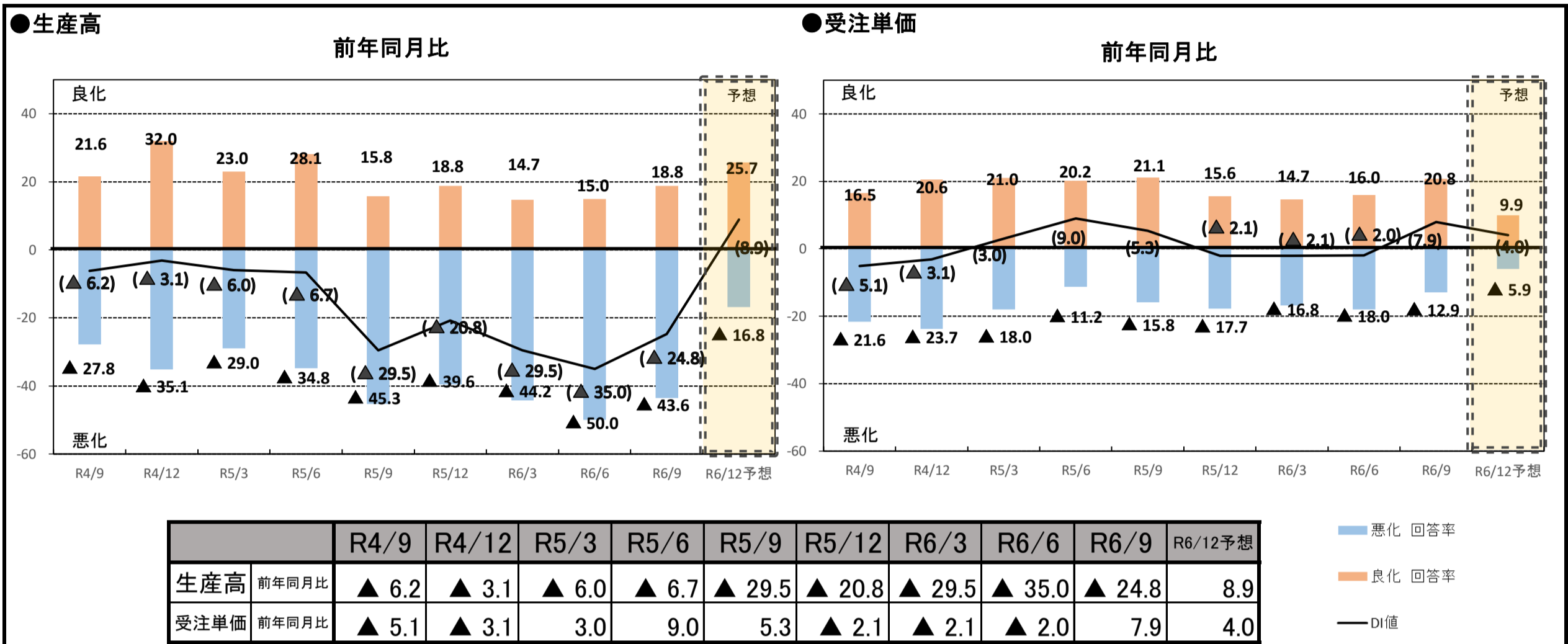
-2024.9-

- 調査時点 令和6年9月調査(令和6年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 101社(回答率:67.33%)

<業種内訳>

プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	19社
一般機械器具	22社
電気機器	19社
輸送用機器	8社
精密機器	10社
縫製	7社
計	101社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



- 概要(総合)
- ・生産高(前年同月比)DIは▲24.8で、前回の▲35.0から10.2ポイント増となった。
 - ・受注単価(前年同月比)DIは7.9で、前回の▲2.0から9.9ポイント増となった。
 - ・稼働状況(前年同月比)DIは▲21.8で、前回の▲36.0から14.2ポイント増となった。
 - ・資金繰り(前年同月比)DIは▲17.8で、前回の▲20.0から2.2ポイント増となった。
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が8.9、受注単価は4.0、稼働状況が10.9、資金繰りは▲10.9という予想になった。
 - ・その他自由意見として、
 - ・受注がかなり減少している。
 - ・下期は鋼材価格が下落するため、単価が下がることが予想される。
 - ・人材不足に悩んでいる。
 - ・賃上げや最低賃金の大幅アップ、パート従業員の社会保険義務化に伴う会社負担増に対応するための価格転嫁は非常に難しい。
 - ・資金繰りが悪化している。
- という意見が寄せられた。